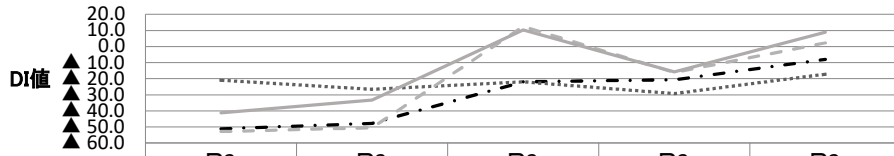


三島管内景況調査

令和3年度第3四半期
(調査期間)
令和3年10月～12月

景気判断指数 DI 値の推移



	R2 10-12月	R3 1-3月	R3 4-6月	R3 7-9月	R3 10-12月
管内業況	▲ 51.2	▲ 47.7	▲ 21.9	▲ 20.7	▲ 8.0
県内業況	▲ 21.0	▲ 26.7	▲ 21.9	▲ 29.3	▲ 17.2
売上高	▲ 52.9	▲ 50.5	12.5	▲ 16.1	2.3
営業利益	▲ 41.2	▲ 33.3	10.4	▲ 15.9	9.1

管内業況感 5期連続で回復 (前回、前年同期ともに)

業況感DI値 ▲8.0ポイント 前回▲20.7ポイント 前年同期▲51.2ポイント
 営業利益DI値 9.1ポイント 前回▲15.9ポイント 前年同期▲41.2ポイント
 設備投資「実施した」半数に迫る45.3% (前回31.8% 前年同期32.9%)

三島市内の景気判断を表す全業種の景況感は業種間で開きがあるもののDI値▲8.0を示し5期連続の回復傾向にあります。これは、9月30日をもって新型コロナの緊急事態宣言が解除されたことによる人流や規制の緩和が要因と考えられ、特に飲食・旅館業のDI値は37.5(前回▲83.3)を示しました。営業利益も製造業と飲食・旅館業、サービス業で大幅な改善がみられDI値9.1を示しました。(前回▲15.9)

設備投資を「実施した」は、半数に迫る45.3%を示し上昇しています。これは、事業所がコロナ禍における感染防止や業務効率、生産性向上のための設備投資に取り組んでいると考えられます。

原材料仕入単価が全業種で上昇しDI値77.0を示しました。上昇は今後も継続すると見通されており、「販売価格の低値・上昇難」が直面している経営上の問題点で上位であることから、価格転嫁が進んでいないことが考えられます。

業種別の業況感DI値は次の通り (今後は3ヶ月の見通し)

業種	今回	今後	業種	今回	今後	業種	今回	今後
全業種	▲8.0	▲6.9	(建設)	▲27.8	▲22.2	(飲食・旅館)	37.5	12.5
(製造)	11.8	6.3	(卸・小売)	▲35.3	▲35.3	(サービス)	±0	8.0

*この調査は、三島地区の中小企業の景況を定期的に把握し、各事業所の経営の参考にしていただくためのものです。下表にある項目について、「前年同期との比較」及び「今後3ヶ月の見通し」について調査し天気図で表しました。
(調査対象165事業所 回答88事業所(回収率 53.3%))

*DI値(景気判断指数)とは、(増加・好転等の回答割合) - (減少・悪化等の回答割合)

景況 天気図 の見方					
	好調・好転・増加	やや 好調・好転・増加	横ばい	やや 不振・悪化・減少	不振・悪化・減少

	増加50%以上、DI値20以上
	DI値10以上～20
	不変50%以上、DI値±10
	DI値 -10以上～-20
	減少50%以上、DI値-20以上

業種	売上高		受注 (製造・建設のみ)		客数 (得意先数)		資金繰り		在庫 (製造・卸小売のみ)		従業員数		パートの採用		営業利益		原材料 (仕入単価)		業況		設備投資	
	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	今期実施	今後 3ヵ月 実施予定
全体			/	/					/	/											45.3%	44.0%
製造業																					35.3%	56.3%
建設業									/	/											55.6%	44.4%
小売・卸売業			/	/																	35.3%	37.5%
飲食・旅館業			/	/					/	/											71.4%	57.1%
サービス業			/	/					/	/											45.8%	37.5%